

花高野球部通信

発行日

令和7年10月21日

第47号

秋季大会結果

初戦 一関第一高校 2対8

2回に千葉勇のセンター前タイムリで先制。6回には走塁戦術で1点を返し同点に追いつく。7回まで2対4とついていくものの、8回にバッテリーエラーを含む4失点。とれるアウトをとれず、それで生かしたランナーが得点につながる試合でした。

次戦 一関学院 0対10

初回到0点に抑えるものの2回到4点、3回到6点と大きく失点。攻撃も5回到連続安打で好機をつくるもその後は続かず。5回コールド。

今大会を振り返って

とれるアウトがとり切れない。ここが大きな敗因であった。チームとしては過去6年間で一番力があるチームだけに、この敗戦は非常に悔しい結果であった。今秋から来春に向けて大きな成長を期待している。また、選手一人ひとりの想像力を更に高めていかなければならないと痛感した大会でもあった。身体に関しても一関学院との体格差がはつきりとしていた。今大会の悔しさをどれだけ引きずれるかです。



1年生大会

本校1年生は5名しかおらず、バドミントン部の1年生、野球部の2年生3名を入れて出場しました。

初戦は水沢商業。初回、2回と2点ずつとられ、4点ビハインドからのスタートとなりました。2番手で登板した和久が試合を落着かせ、守備でリズムをつくる中、2点を返すも、後半も水沢商業打線に掴まり、2対8で敗れました。

1年生大会の規程では1年生6名いなければ、大会には出場できないとあり、今回バドミントン部の助っ人が協力をしてくれました。中学時代は野球部ということもあり、ヒッティング、フライ捕球とパフォーマンスを発揮してくれました。また、彼と一緒に野球ができることを心待ちにしています。さあ頑張るぞ。秋から春にかけての練習を！

中学生の皆さんへ

現在2年生が6名、1年生が5名の計11名で活動をしています。来年度の春に新入部員が3名以下の場合、単独出場が叶わなくなってしまうです。

本校野球部は思いきり野球を行える環境があります。小規模チームゆえに1年生から公式戦にも出場でき、心技体の成長スピードは他校に負けません。また、過去には高校から野球を始めた部員もあり、3年生の練習試合ではホームランを打つことができました。

誰もが主役になれる花泉高校野球部です。是非、一緒に高校野球をやりましょう。練習見学は随時可能です。その際は学校まで連絡をお願いします。



練習風景と練習試合回顧

1年生大会を終え、トレーニングと個別練習を増やしています。1年生も4月から継続的にトレーニングを入れていますが、まだまだ細く、この冬の頑張りに期待しているとこです。校舎内にプロテインを自由に摂取できるブースを設け、継続的に摂取できる環境も作りました。

先日の練習試合では一関第二高校と対戦し、2試合とも勝利することができました。この6年間、公式戦、練習試合を通して一度も勝利したことのない相手です。また、宮城県ベスト4の気仙沼高校にも4対4の引き分けと好ゲーム。この冬の取り組み次第で、来春、夏と飛躍することでしょう。人数が少なくとも色濃い選手達。頑張れ花高野球部。

